

## ◇ 新刊紹介

城下町大野を歩く(河原哲郎著)一部坂田  
玉子執筆)松浦印刷、昭和五八年一二月刊  
九四ページ、頒価一、〇〇〇円

本書は、著者が昨年七月に刊行した『勝山の散歩道』に続く第二弾で、地域のひとびとからの強い要望に応えたものである。内容は、  
1. 大野城址を歩く、2. 城下町大野を歩く、3. 寺町の墓碑めぐり(坂田玉子執筆) 4. 寺町の文化財、5. 古代・中世を歩く、の五章から成る。そしてさきの『勝山の散歩道』の場合と同じく、「歴史を見る目で史跡めぐり」と「系統だてたコースで史跡めぐり」の二つの視点から執筆・編集している。

しかも現地のさまざまな写真を精いっぱいそう入し、また町名は、旧城下町時代の旧町名であらわすが、その方がかえって読者の興味・関心をひくものと考えられる。何としても、旧大野市街地は、県下で最も城下町の歴史的景観を今日に残しているだけに、大野市民はもちろん県内外からきわめて重宝がられる著作で、ぜひ本書を片手に、もう一度じつ

くり現地を訪れることをぜひおすすめしたい。なお著者の河原哲郎氏と一部執筆担当の坂田玉子氏はともに、地域の歴史研究にすぐれた業績をあげており、本書の内容そのものが高はなはだ説得力に富み、深い感銘をおぼえる。

(三上一夫記)